

ネオシリカ (NEO SILICA) とは

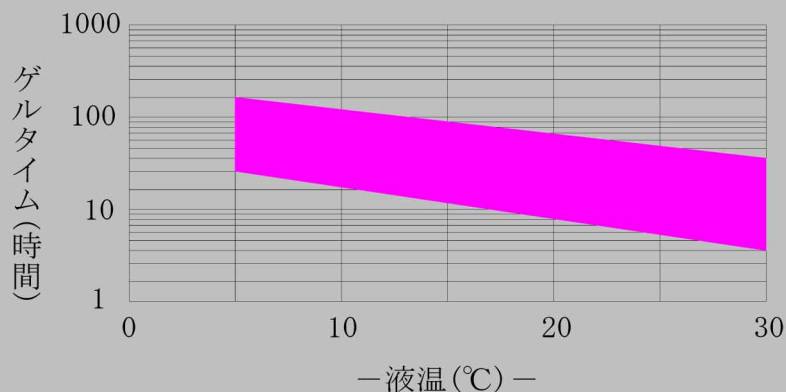
『ネオシリカ』は、主にダブルパッカ工法対応型グラウト剤であり、また調合・製造システムの総称です。

この『ネオシリカ』は、珪酸塩に多価金属塩を含む酸性反応剤を作用させ、強固なアルミゲルを生成します。強度及び耐久性・浸透性に優れた特殊中性・酸性グラウトです。また、『薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針』（昭和49年7月10日 建設省【現 国土交通省】）にも適合する安全な材料です。

1. 特徴

- (1) 使用材料は、全て無機物を使用しています。
- (2) コロイド粒子は含まず、低粘性(1.8cP)の溶液であるため浸透性に優れています。
- (3) 注入されたグラウトは、ゲル化の過程で1次注入のCBや土の作用を受けて中性化に移行するため、地下水のpHの変化にほとんど影響を与えません。
- (4) 主剤と多価金属塩が反応することにより、強固な珪酸アルミゲルが生成されます。これにより長期安定性・固結強度の増加が得られ、耐久性に優れています。
- (5) アルカリ成分を完全に除去した活性シリカ溶液は、どのような土に対しても必ずゲル化し、 SiO_2 の溶出はほとんどありません。
- (6) 特殊な調合・製造方法を採用していることから、品質・施工管理が容易に行えます。また、従来の製造方法に比べて設備を小型化でき、経済性にも優れています。

2. ゲルタイム



長結グラウトは、土に含まれる貝殻・粘土鉱物等のCa、Mg、Alイオンやアルカリ成分と反応して中性化に移行するため、ゲルタイムは短くなります。